

女性の就労環境整備の推進 (研修会及び個別相談会の実施)【広島県広島市】

個別事業費	2,718千円
交付金額	1,340千円

地域の実情と課題

・平成31年度に実施した「広島市男女共同参画に関するアンケート調査」の結果から、「男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと」として、企業の職場環境の整備に関する取組が上位に挙げられた。
 ・これを踏まえ、女性が個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍するため、女性が継続して働くことができる環境づくりの推進が課題となっている。

事業の特徴

特徴

市内中小企業に対する継続的な支援を実施

事業の流れ

- ・市内中小企業を対象に、研修会及び個別相談会を実施
- ↓
- ・研修会及び個別相談会に参加した企業が、一般事業主行動計画を策定するとともに、女性や若者のための職場づくりに関する取組を実施

事業の効果

・全3回の研修会において、アンケートに回答した企業全てが研修全体の満足度を「とても良かった」又は「良かった」と回答した。また、個別相談会を延べ13回実施し、参加した企業5社中4社が一般事業主行動計画策定に向けて取り組むこととなった。

目的・目標

- <目的>
- ・女性や若者が働きがいのある安定した仕事を持てるよう、仕事と家庭の両立、正規雇用化、職場定着・継続就業等に取り組む地元中小企業を支援し、女性や若者のための良質な職場環境づくりを推進する。
 - ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、女性活躍推進に取り組む企業(従業員数300人以下の企業)を増やす。(目標値:令和6年度末までに500社)
- <目標>
- ・研修会の参加企業:110社

連携団体

・国、広島県、県内市町、経済団体などで構成する「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」構成員と、研修会及び個別相談会の広報等で連携を図った。

今後の課題

・従業員数100人以下の中小企業では、行動計画策定が努力義務であること、人的余裕がなく日常業務が多忙なこと、女性活躍の必要性についての理解が進んでいないことなどから、研修会及び個別相談会の参加企業数は、目標に届かなかった。このため、令和6年度は、参加企業を増やすため、広報の手段・内容や期間を見直すとともに、国や県、経済団体、マスコミなど多様な職種・団体と連携を強化し、企業に対して幅広く周知を図る。

